

オンライン学習会のすすめ

近畿ブロック 神戸丹波支部

オンライン学習会のすすめ 最初に

オンライン学習会のすすめを記す際に、まず最初に重要な点を指摘しておきたいと思います。

オンライン学習会のやり方に「正解は無い」と言うことです。オンラインで学習会を目的は様々で、それぞれのや考え方や目指す方向性、それに伴う機材やネットワークの組み合わせ、そして人員や予算と言った制約の数々。それらを総合的に調整しながら、各支部が目指すオンライン学習会には何が必要なのかを考えなければなりません。

コロナ禍によって急速に変化するオンライン環境に適応する為には難しい理屈よりも、まずは「やってみる」事が重要なのではないのでしょうか。

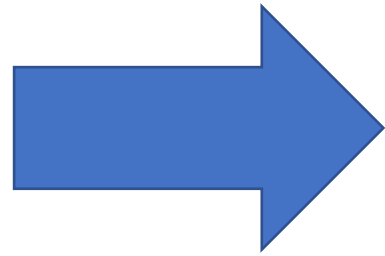
そこでこの資料は即効性のある方法のみに焦点を絞り、ネットで調べる足がかりを記しました。

神戸丹波支部のオンライン学習会

神戸丹波支部では早くからオンライン学習会とはどのようなものか、そしてどのような学習効果があるかを考え続けてきました。

細かい理屈はともかく、ここではすぐに出来るオンライン学習会のやり方を示して行きます。

用意するもの



- パソコン
- ZOOMアカウント(プロ版)
- 音響ミキサー
- アンプ
- マイク
- 外部スピーカー
- 配線類
- プロジェクタ
- YouTubeアカウント

ざっと9点！



単なるオンラインミー
ティングだけではあれば



このように多くの人が一カ所に集まってミーティングをする場合には一工夫が必要です。では一番問題となるのは何か。

この組み合わせで行
う事が出来ます。

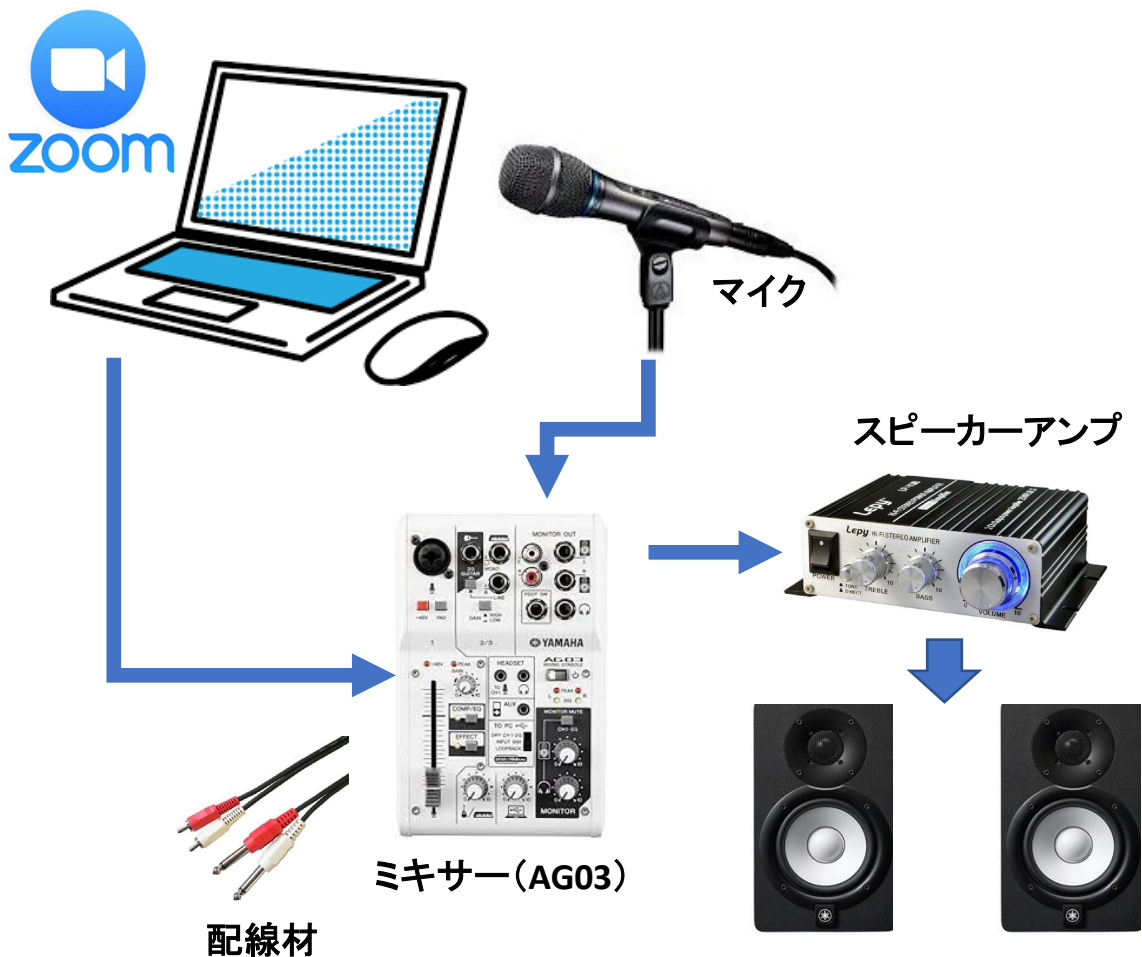
それは「音」です



ネットワークの向こう側の人と、リアルな人の間に伝わる「音」が必要です。

そのためには「音」に関わる機材が必要です。

具体的な機材の流れを示します



その場にいる参加者にすべての音声を届ける

いちばんシンプルな構成は、パソコンから出力されるZOOMの音声を、ミキサーに出力します。

ミキサーにはマイクが接続されているので、ZOOMの音声はこのマイクを通じてミーティング音声として出力されます。

ミキサーから出る音は、マイクとZOOMの音が合成されて、スピーカーアンプに送られます。

最後に、アンプで増幅された音声スピーカーに出力され、その場にいる参加者に演者さんの音声とZOOMのミーティング音声を届けます。

マイクを複数使うことで、2人から3人。またはマイク1つで1人から2人の演者さんの音声を拾うことができます。

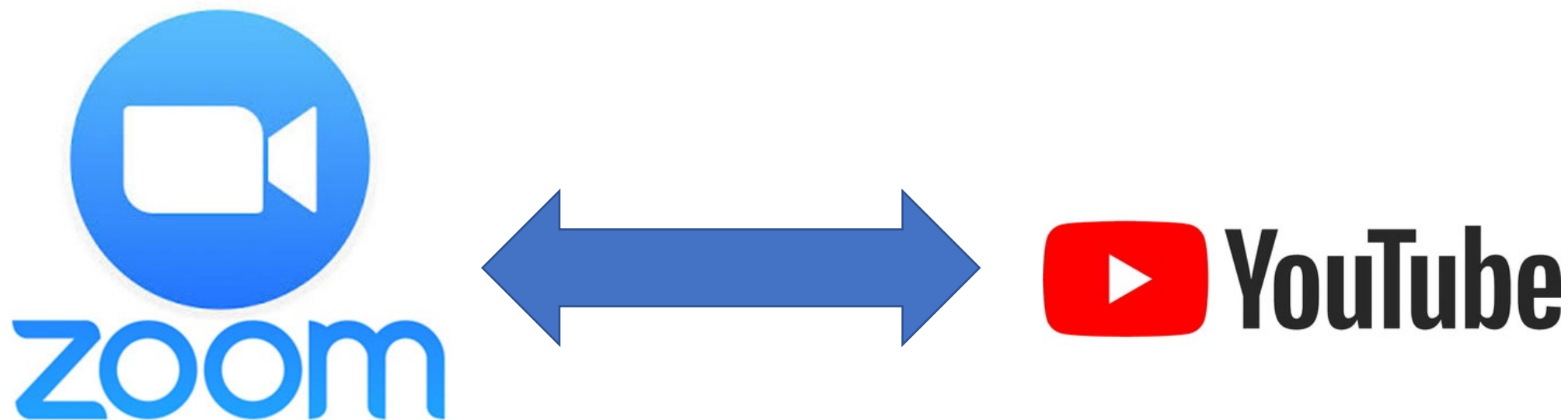
ネットワークの向こう側にいる参加者は、マイクとスピーカーを通じて、その場にいる人(演者と現場の参加者)と音声通話ができるようになります。

それぞれの機器の接続には適切な電氣的配線を用います。



PCからプロジェクタへHDMI
で映像を観客と共有する





ZOOMのミーティング内容をYouTubeと連携することができます。ZOOMでパネルディスカッションをしつつ、YouTubeを使ってライブ放送することでウェビナー形式でオンラインイベントを開催する事が可能です。YouTubeチャンネルのチャット機能を使用し、ユーザーからのフィードバックをZOOMミーティングに反映する事で、高度なミーティングができるようになります。

オンライン学習会のすすめ 最後に

冒頭にもしめしましたが、オンライン学習会には決まった方法論を解説することが非常に難しいと言えます。

今回、しめた概要を手がかりに、近畿ブロック内の各支部がそれぞれの方法を模索する手がかりになれば幸いと考えております。

神戸丹波支部では引き続きオンライン学習会のあり方を研究し続けていきます。特定の方法が正解と言うことが無いオンライン学習会では臨機応変に様々な機材と技術を組み合わせて行く必要があります。

近畿ブロック内で今後とも各支部のアイデアを共有していきたいとおもいますので、是非とも情報交換をお願い申し上げます。

近畿ブロック長 兼 神戸丹波支部長 加村友多